

4年生 理科 とじこめた空気や水・導入「新聞紙ドームを作ろう」 指導計画案

2016.5.17 杉並区立 井荻小学校 4年生（児童 50名）で実施

目標：新聞紙ドームを膨らませ、中に入る体験を通して、空気についての興味関心を高める。

time 分	指導者の発問等	児童の学習活動等	支援・備考
新聞紙の巨大ドームをふくらませて、見えない空気について発見しよう			
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>空気を閉じ込めた経験について意見を聴く。</li> <li>新聞紙巨大ドームを作り、空気を入れることを伝え、班ごとに指示書を配る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「袋」「風船」「シャボン玉」などに閉じ込めた。</li> <li>班ごとに、指示書をよく読み、見通しを立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班で協力しないと空気の抜けない良いものはできないと伝える。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>班を周りながら、作業についてのアドバイスをする。</li> <li>班ごとのパーツが完成したら、他の班と合体していくよう声かけする。</li> <li>作業スピードに違いが出るので、早く終わった班は、「空気の本」を読んでいるよう声かけする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セロテープで新聞を貼り合わせていく。</li> <li>指示書に従って班ごとに合体して貼り合わせていく。</li> <li>協力して、すべての新聞を一つに貼り合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞の向きに気をつけさせる</li> <li>会場内に「空気」をテーマにした本を展示しておく。</li> </ul>
50	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドームが完成したら、全員を集め、ふくらませる方法を指示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1組児童は、ドームの穴から、うちわで空気を送り込む。</li> <li>2組児童は、1列で中に入り、中の様子を体感する。</li> <li>1組、2組を交代する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風と空気の関係やドームが萎まない理由も考えさせる。外からドームに触れる体験もさせる。</li> <li>時間があれば、送風機で風を送り込む方法も実施するとよい。</li> </ul>
70	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめとして、経験を発表し共有させる。</li> <li>「空気」の本を紹介と、読み聞かせをし、これから空気について学んでいくことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドームに空気を送り込んだり、中に入って感じたこと、考えたこと、疑問、発見したことを発表する。</li> <li>読み聞かせを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童それぞれが、自分の課題を持てるようはたらきかける。</li> <li>空気の存在が感じられる発言が出たら、キーワードとして記録しておく。</li> <li>次時以降、なるべく早い段階で、空気の本の読書ができる機会を設ける。</li> </ul>
90			

